伊藤先生の
街かど診療室
Q&A

眼球運動障害について

伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

両目で見ると物が二重に見えるとの訴えで来院される患者さんが時々来られます。片目で二重に見える場合は乱視が主な原因ですが、両目でとなると眼球運動の協調性がおかしくなっているためです。

怪我の場合、目の周りの骨の骨折や損傷を疑います。私の出身医局である昭和大学眼科がそれらの治療に特化しているので即紹介状を書きます。甲状腺機能亢進症（バセドウ病）の場合は、専門施設であるオリンピア眼科病院に即紹介状を書きます。いずれも早期の治療介入が治療成績を上げるためです。

「二重に見えて頭が痛い」場合は、まぶたが下がっていないか、瞳孔の左右差がないかなどをチェックし、早急に脳神経内科もしくは脳神経外科のある病院に紹介状を書きます。これは脳動脈瘤が増大していたり、脳腫瘍などにより、脳内出血や脳ヘルニアに至った場合、致命的な結果となることもあるからです。

しかし、二重に見えているが頭痛はなく、紹介先からMRIでも異常が検出されないとして、内服で様子を見る場合も多いです。一時的な脳血管の攣縮（れんしゅく）による後遺障害かもしれません。待っていると次第に元に戻っていく方が多いですが、再発を繰り返す人も稀にいます。このように、二重に見えるという症状には、いろいろな病気が隠れ潜んでいることがあるので、その病態相応の他科に依頼することが多いです。

ただし、「寝ながらテレビを見ると二重に見える」という人も多く、その場合は起き上がって見てくださいとしか言えません。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
http://www.itoganka.com/
■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術
白内障手術、眼科一般診療
■時間：土曜午後、木・日曜、祝日は休診
☆緊急手術は随時対応　☆月・水曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30～12:30	○	○	○	／	○	○	／
14:00～17:00	検査予約優先	手術	検査予約優先	／	手術	／	／